



2023,05,27

NO. 241

申36号

(株)JR東日本ステーションサービス (JESS) へ

2023年度 夏季手当等に関する申し入れ

5月26日 提出!

夏季手当

基本給月額
(契約社員含む)

3.2ヶ月分

+ 10万円

申し入れ事項



- 2023年度夏季手当については、基本給月額3.2ヶ月分+10万円(契約社員含む)とすること。
- この要求に対する回答については、2023年6月16日までに行うこと。
- 支払い指定日は、2023年6月30日までとすること。

黒字化の原動力は「人」であり、今こそ「人への投資」が重要だ

職場は増収・コストダウンに積極的に取り組み
黒字化を実現できたのは現場の努力の賜物だ!

「満額回答で答えるべきだ!」



(株) JR東日本ステーションサービス (JESS)

2023 年度夏季手当等に関する申し入れ

私たちの要求 基本給月額 (契約社員含む)

6月5日趣旨説明を行う!

夏季手当

3.2ヶ月分 + 10万円

	2021 年度 実績	2022 年度通期予想 (第 3 四半期決算時点)	2022 年度 実績
当期純利益	△2,500 万円	1 億 4,600 万円	2 億 8,200 万円

予想を上回る利益は、
組合員・社員の奮闘があったからだ!

企業の責任として物価動向を重視した「人への投資」を強く求める!



趣旨説明で述べた私たちの主張

- 2022 年度期末決算は年度当初は厳しい予想だったが、黒字に転換した。組合員・社員がコスト削減やコロナ禍にあっても業務に向き合ってきた結果であり、夏季手当の満額回答で正しく評価すべきだ!
- 働き度が増しているにも関わらず給与水準が低い。若手社員は将来に希望が持てず退職者が増加している。物価高にも賃金が追いついていない!
- 遠隔稼働時間の拡大により、車いすでご利用のお客さまの対応や券売機対応等でお客さまからの呼び出しが更に多くなり、休憩を取れない箇所が増えている!
- 遠隔化により出面が2徹から1徹になり、要員も削減されて休日勤務ありきの勤務体系になっている! 売店の回金作業も業務に組み込まれ労働密度は上がる一方だ!
- 出札窓口の徒列が常態化しており、話せる券売機の応答率も低く、お客さまを長時間お待たせしていることはサービスの低下であり、直ちに改善を図るべきだ!

会社から述べられた現状認識と主張

- ✓ 2023 年度は「JESS ビジョン 2023MOVE」の最終年度であり、目標達成に向けて努力して頂いていることに感謝申し上げる。営業費用は新規採用による増はあったが、出向負担金の減により人件費が減少し、増収増益になり黒字を達成した。
- ✓ 離職者が一定程度いるのは確かだ。これまでも手当の見直しなど働きがいの創出を図ってきており、退職理由は給与以外にもあると考えているが、組合の主張は受け止めたい。
- ✓ 駅によって忙しい時間帯は違う。今後も駅ごとに作業ダイヤを工夫し、被制御駅側の負担を考慮して対応していく。
- ✓ やみくもに人員を削減するつもりはない。駅の特情に応じて日勤者を配置するなど必要な対応は行なっていく。
- ✓ 多売期には体制を取り、話せる券売機はオペレーターの呼び出しを必要としない対応もあり、駅でご案内が出来る体制を進めている。本体とともにサービスを向上していける様に今後も協議していく。

全ての仲間力で、働きがい・生きがい・心の豊かさを実感できる
満額回答と労働条件向上を実現しよう!





(株) JR東日本ステーションサービス (JESS)

2023 年度夏季手当等に関する申し入れ

6月14日第2回団体交渉にて会社回答が示される!

社員

基本給月額

2.22 箇月分

契約社員

基本給月額

1.00 箇月分

パート社員

労働実績が週平均 30 時間以上の者

10 万円

労働実績が週平均 10 時間以上 30 時間未満の者

6 万円

※2023年6月1日現在在籍し、2022年度下期各月に労働実績がある者に限る。
※その他、雇用契約の定めによる。

支給日：2023年6月28日(水)

労使で認識一致を図った点について

- ✓ コロナ禍から現在に至るまでの社員一人ひとりの奮闘に感謝申し上げる。
- ✓ 管区ごとに要員数に差があるのは確かである。魅力ある会社をつくるために労働条件・労働環境の改善は不可欠である。初任給の見直しやベースアップの実施、パパママ休暇の新設などを取り組んできたが、引き続き、賃金をはじめ働き方(育児・介護制度や福利厚生)の改善に向けて歩みを止めず取り組んでいく。人財あつての会社である。
- ✓ 窓口閉鎖・話せる指定席券売機設置などの施策実施により、サービスが低下しているとは考えていないが、工夫が必要なことは認識している。本体とも協力して改善に向けて取り組んでいく。

上記について、労使で認識一致を図り、妥結!

しかし 物価高に負けない賃金の実現と職場環境の改善は今後の大きな課題だ!

輸送サービス労組運動を更に推し進め、

働きがいの持てる賃金と職場環境の改善を実現しよう!

